



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカチホ
 コード番号 8225 URL <http://www.kk-takachiho.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 知幸
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 渡辺 三千也 TEL 026-221-6677
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,783	△5.8	△59	—	△69	—	△52	—
26年3月期第1四半期	2,956	0.5	△28	—	△41	—	△32	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △50百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △30百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△8.35	—
26年3月期第1四半期	△5.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	7,207	1,508	20.9	241.03
26年3月期	6,960	1,559	22.4	249.17

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,508百万円 26年3月期 1,559百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 平成27年3月期の配当につきましては、現時点では未定です。配当予想の開示が可能になり次第、速やかに開示いたします。

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,400	3.0	140	32.5	90	54.0	30	—	4.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	7,275,000株	26年3月期	7,275,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	1,016,811株	26年3月期	1,016,811株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	6,258,189株	26年3月期1Q	6,258,189株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信[添付資料]P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済再生政策や日本銀行による金融政策の浸透により円安・株高傾向が続き、景気は緩やかに回復基調にあります。しかしながら個人消費においては、4月の消費税率の引上げ後に消費の伸びは鈍化している状態にあります。加えて燃料価格の高騰、輸入原材料価格の上昇、電気料金の値上がりなどにより、個人消費マインドが低迷状態にあり、経済環境は依然として不透明な状況が続いております。

レジャー業界におきましては、円安の影響を受けて一部の観光地で外国人観光客の増加もみられましたが、観光シーズンのGWの前半が飛び石連休だったことや後半天候が良くなかったことなどから、人出の思わしくない観光地も多くみられました。

このような状況の下、当社グループでは、「改革へのチャレンジ」の年度スローガンに基づき、みやげ事業を中心に販路拡大策の実施や社内業務の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,783百万円（前年同四半期比5.8%減）、営業損失は59百万円（前年同四半期は28百万円の営業損失）、経常損失は69百万円（前年同四半期は41百万円の経常損失）、四半期純損失は52百万円（前年同四半期は32百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、当社及び当社子会社により地域の特色を生かした商品開発と当社開発のオリジナル商品群の提案による販路拡大を進めてまいりましたが、受注が伸びず、売上高は1,641百万円（前年同四半期比4.7%減）となり、営業利益は50百万円（前年同四半期比21.9%減）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、出店先大規模商業施設のリニューアル工事に伴い「軽井沢旬粋店」他1店の営業休止期間の発生がありました。その結果、売上高は378百万円（前年同四半期比15.4%減）となり、営業損失は36百万円（前年同四半期は32百万円の営業損失）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、当社や各地の当社子会社及び各観光地の取引先の地域性を生かしたオリジナル商品の開発と提案による積極的な生産活動に努めてまいりましたが、受注が伸びず営業損失は8百万円（前年同四半期は8百万円の営業損失）となりました。

④温泉施設事業

温泉施設事業は、各種イベントの企画・実施等や接客・サービスのレベルアップに努め、各施設のリピーター客の増加に努めてまいりましたが、来場者数が減少し、売上高は380百万円（前年同四半期比3.7%減）となり、営業損失は31百万円（前年同四半期は19百万円の営業損失）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。これらの賃料収入は27百万円（前年同四半期比0.2%増）となり、営業利益は9百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、シーズンに合わせたユーザー参加型のイベントの企画・開催によりお客様ニーズの発掘と購買意欲を喚起してまいりました。また、効率的な商品管理方法を推進致しました。その結果、売上高は181百万円（前年同四半期比13.0%減）となり、営業利益は14百万円（前年同四半期比4.5%増）となりました。

⑦その他

その他は、長野市内においてギフト店等の運営が含まれ、催事・イベント等販売活動を積極的に推進してまいりました。その結果、売上高は173百万円（前年同四半期比12.3%増）となり、営業利益は11百万円（前年同四半期比9.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,831百万円となり、前連結会計年度末に比べ293百万円（11.6%）増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が129百万円、商品及び製品が148百万円、流動資産その他に含まれる繰延税金資産が35百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は4,375百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円（1.1%）減少いたしました。これは主に有形固定資産が43百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、7,207百万円となり、前連結会計年度末に比べ246百万円（3.5%）増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,578百万円となり、前連結会計年度末に比べ283百万円（8.6%）

増加いたしました。これは主に短期借入金が237百万円、支払手形及び買掛金が61百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,120百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円(0.7%)増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、5,698百万円となり、前連結会計年度末に比べ297百万円(5.5%)増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,508百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円(3.3%)減少いたしました。これは主に四半期純損失52百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は20.9%(前連結会計年度末は22.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月13日開示の平成26年3月期決算発表時と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,026,527	996,066
受取手形及び売掛金	838,847	968,385
商品及び製品	506,551	654,618
原材料及び貯蔵品	77,991	81,462
その他	90,989	136,518
貸倒引当金	△2,675	△5,099
流動資産合計	2,538,232	2,831,951
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,261,680	1,224,776
土地	1,005,879	1,005,879
その他(純額)	345,982	339,370
有形固定資産合計	2,613,542	2,570,025
無形固定資産	120,499	115,560
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,035,055	1,037,504
その他	668,579	668,889
貸倒引当金	△15,477	△16,649
投資その他の資産合計	1,688,158	1,689,744
固定資産合計	4,422,200	4,375,330
資産合計	6,960,433	7,207,282
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	475,736	537,531
短期借入金	2,353,027	2,590,584
未払法人税等	30,232	17,469
賞与引当金	57,741	98,703
返品調整引当金	5,271	4,257
ポイント引当金	10,667	10,785
その他	362,217	319,005
流動負債合計	3,294,893	3,578,336
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	1,419,317	1,433,788
役員退職慰労引当金	61,704	62,879
資産除去債務	330,696	332,494
その他	94,467	91,369
固定負債合計	2,106,185	2,120,531

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債合計	5,401,078	5,698,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	708,318	708,318
利益剰余金	46,254	△6,558
自己株式	△199,825	△199,825
株主資本合計	1,554,746	1,501,934
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	4,607	6,480
その他の包括利益累計額合計	4,607	6,480
純資産合計	1,559,354	1,508,414
負債純資産合計	6,960,433	7,207,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,956,609	2,783,971
売上原価	2,234,876	2,110,682
売上総利益	721,732	673,289
販売費及び一般管理費	749,958	732,381
営業損失(△)	△28,225	△59,091
営業外収益		
受取利息	2,036	2,036
受取配当金	405	389
仕入割引	990	882
受取事務手数料	2,863	1,320
その他	2,267	3,082
営業外収益合計	8,563	7,711
営業外費用		
支払利息	18,214	17,231
その他	3,478	605
営業外費用合計	21,692	17,836
経常損失(△)	△41,354	△69,216
特別利益		
固定資産売却益	500	—
特別利益合計	500	—
特別損失		
固定資産除却損	813	—
特別損失合計	813	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,667	△69,216
法人税、住民税及び事業税	20,345	15,862
法人税等調整額	△29,118	△32,797
法人税等合計	△8,773	△16,934
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△32,894	△52,282
四半期純損失(△)	△32,894	△52,282

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△32,894	△52,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,129	1,872
その他の包括利益合計	2,129	1,872
四半期包括利益	△30,765	△50,409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,765	△50,409
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事 業	みやげ 製造事 業	温浴施 設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	1,723,108	447,879	—	394,877	27,731	208,225	2,801,822	154,787	2,956,609	—	2,956,609
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	59,313	—	126,868	—	6,000	—	192,182	105,624	297,806	△297,806	—
計	1,782,422	447,879	126,868	394,877	33,731	208,225	2,994,004	260,411	3,254,416	△297,806	2,956,609
セグメント 利益又は 損失(△)	64,609	△32,387	△8,425	△19,959	9,094	14,021	26,952	10,387	37,340	△65,566	△28,225

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事 業	みやげ 製造事 業	温浴施 設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	1,641,950	378,971	—	380,213	27,775	181,192	2,610,103	173,868	2,783,971	—	2,783,971
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	49,739	—	110,424	—	6,000	—	166,164	102,348	268,512	△268,512	—
計	1,691,689	378,971	110,424	380,213	33,775	181,192	2,776,267	276,216	3,052,484	△268,512	2,783,971
セグメント 利益又は 損失(△)	50,489	△36,514	△8,673	△31,074	9,377	14,648	△1,747	11,352	9,604	△68,696	△59,091

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。